

## 目標達成計画

作成日: 令和元年7月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	併設の施設から食事が届き、準備から盛り付けなど利用者様と一緒にっていますが、食事を作ることはないので、現在食事作りの機会を2ヶ月に1回行っています。本来のグループホームの役割という観点から、食事を作る楽しみを思い出して頂くためにも、利用者様に食事を作る機会が少なかった。	食事委員と行事委員を中心に計画を立て、月1回のペースで食事作りの機会を増やして行く。また、家族様と一緒に食事を作る機会も設けていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員を中心に計画を立てる。</li> <li>・業務改善及び勤務調整を行い食事作りの実施が出来るように行う。</li> <li>・行事ごとの内容に食事作りを計画の中に入れ、家族様にも呼びかけを行っていく。</li> </ul>	6ヶ月
2	10	利用者様、家族様から意見や要望を聞く機会として、年2回の家族会の開催時に、聞くことが多いが、行事などで集まって頂いた際に、意見要望、感想などが聞き取る事が少ない。	家族間の交流が出来、職員との信頼関係も少しずつ出来てきているなかで、家族会だけでなく、家族様の普段の訪問時やアンケートなどでも気楽に聞き取りが行えるような環境を作っていきたい。	行事ごとに、家族様へのアンケートを作成し配布。利用者様には、職員が感想など聞きとり次回の行事等の参考にする。また、何かホームで行うようなことは事前にお知らせを実施、意見をお聞きし運営に反映できるよう繋げていく。	6ヶ月
3	26	介護計画に沿ってモニタリングの評価を行い、出来ていない項目の見直しをしているが、次の評価に繋がっていない。	機能訓練について、アセスメントを専門職にして頂いているが、それを職員が生活リハビリとして日常の中で、誰もが実践していけるよう行っていく。	どの職員も、個々にあった利用者様の生活リハビリを把握出来るように、1週間のメニュー表として作成し見える化する。それをする事で意識を持つ。ケア会議で、生活リハビリの進捗状況を報告し、利用者様の状態を把握する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。